

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 5月号

1. 日南トマトを有名に！日野高校で指導・助言

4月14日、鳥取県立日野高等学校が3年生の「総合的な探究の時間」で開く課題研究の年間計画策定に、J A日野営農センターの職員と日南トマト生産部員らが参加した。2名の生徒と「日南トマトを有名にする」をテーマに意見を交わした。

今後は、生徒自らが日南トマトについて学びながら課題や疑問を整理し、レシピ考案や若い世代にも魅力を伝える環境を整え情報発信などを検討していく。



2. 降ひょう被害調査で園51カ所を訪問。大山果実部

4月18日、鳥取県大山町や米子市などの果樹園などで降ひょうによる被害が発生した。J A鳥取西部大山果実部は4月20日、被害状況を確認するため、大山町内の梨園をまわり、実止まりなどを調査した。

被害のあった梨園では、ひょうが果実にぶつかった跡や、葉の破れなどの被害が見られた。4月21日に摘果講習会を開き、被害果の対応や施肥など今後の栽培管理の指導を行った。



3. 地元農業を学んで。小学生にスイートコーン植え付けを指導

J A鳥取西部青壮年部名和支部は4月20日、名和小学校でスイートコーンの種まきと苗の植え付けを児童に指導した。

種のまき方を教わった児童はセルトレーに楽しそうに種をまき、苗の植え付けにも挑戦した。苗を植える穴に指を入れた児童は「あっ、土の中はあったかい」と新しい発見に笑顔を見せていた。



以上